

# やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2021 **8**  
令和3年8月10日発行  
No.113

やまのべ  
議会だより

2021年8月号 VOL.113



**やまのべの  
さくらんぼ  
おいしいね!**

6月定例会	2
第2回臨時会	4
町政のここはどうする? 一般質問	5
新しい町への挑戦 議会活動報告	9
あなたの声をお聞かせください	10

写真/やまべ幼稚園さくらんぼ給食  
(関連記事 10ページ)

発行/山形県山辺町議会  
編集/広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会  
ホームページは  
こちら



## あなたの声をお聞かせください

～のぞみ会の方からのメッセージ～

のぞみ会プロフィール…昭和49年、小学校の家庭学級から始まり、勉強会や、やまのべ荘のボランティアなど、40年以上活動を続けています

町民の声を聞いて  
早く町にとどけて  
ほしい

山辺町の人口に対して議員の定数は  
多くないの?  
財政難といわれているけどどこか減  
らすものはないの?

車社会になったからか  
歩いて買い物に行ける  
ところがなくて大変

山辺駅は新しく  
ならないの?

災害時の避難所で  
情報が少ない  
テレビやラジオな  
どがあれば

マンションなどがあれば  
人口も増えるのでは

他の市町との合併は  
あるの?  
少しは良くなるのかな?

避難所の非常食ももう少し  
考えてほしいなあ



のぞみ会の皆さん

—私たちはみなさんの活動を応援しています—  
皆様からいただいたご意見を町政へ反映していきます

### 表紙の説明



昨年引き続き、町の学校や幼稚園、保育園などに町からさくらんぼが贈られました。今回は、6月21日にやまべ幼稚園のさくらんぼ給食へお伺いし、園児が喜ぶ顔を撮影させていただきました。さくらんぼを食べる園児たちは笑顔いっぱい、とってもうれしそう。

今年は霜の影響でさくらんぼの収量が少ないようでしたが、農家の方々の努力で子どもたちみんなに贈っていただきました。感謝しなくちゃね。

### 編集後記

町においてもワクチンの集団接種、個別接種が始まりました。しかし、行動の自粛や抑制などによって生活が一変し、経済などに想像もつかない大きな影響を及ぼしています。いつになったらマスクが外せる生活ができるのか。今はただ一日も早い終息と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

また、4月から5月にかけて経験したことがない凍霜害で、サクランボをはじめとする農作物にこれまでになく甚大な被害が発生し、被災農業者の皆様が衷心よりお見舞いを申し上げます。度重なる気象災害で営農意欲の減退が懸念されます。町の基幹産業でもあります農業の再生に期待を申し上げます。

神保 稔 記

■発行責任者  
議長 樋口 和男  
■広報常任委員会  
委員長 渡邊 裕二  
副委員長 神保 裕  
委員 齊藤 昭  
委員 峯田 彦  
委員 竹俣 朋

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



# 未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス禍 さらなる感染症対策 支援事業を拡大

## 定例会のあらまし

第2回定例会が6月14日から6月16日までの3日間の会期で開催され、7人の議員が一般質問を行いました。山辺町議会議員および山辺町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定など4件、町道路線の認定、財産の処分、一般会計補正予算、小型動力ポンプ付積載車の取得、請願など各1件に議員発議2件の議案を審議し、いずれも全会一致で可決されました。また、議員の派遣についても報告がなされました。

## 主な条例の制定

○山辺町議会議員および山辺町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定  
令和2年6月の公職選挙法の一部改正に伴い、町村の選挙公営の対象を市と同様のものに拡大することと併せ、町村議会議員選挙においてもビラの頒布を解禁および供託金制度を導入しようとするもの。

○山辺町職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正  
夏季休暇取得期間を延長し取得を容易にすることにより、職員の心身の健康の維持および増進等に資するためのもの。

○山辺町企業版ふるさと納税地方創生基金条例の制定  
山辺町を応援しようとする法人からの寄附金の受け皿として、新たに基金を創設し、寄附の有効活用と円滑な制度運営を図るために制定しようとするもの。

○山辺町国民健康保険税条例の一部改正  
令和3年度の国民健康保険税について、新型コロナウイルス感染症の影響により主たる生計維持者の収入が減少した世帯に係る減免を実施しようとするもの。



新しく認定される町道と歩行者自転車用道路

## その他の案件

○町道路線の認定  
境ノ目地内で開発行為により宅地開発された延長約190m、官地を含めた幅員6mの道路で生活に密接する路線として認定しようとするもの。

○財産（土地）の処分  
境ノ目地内の町有地5085㎡の未利用財産を売却し、財源の確保を図ろうとするもので、入札の結果6120万円で山形市の小笠原建設（株）が落札し、売買契約を締結し、土地の処分を行うもの。

○小型動力ポンプ付積載車の取得  
山辺町消防団第4分団第3部の老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新して、消防団の機動力と機能性の充実強化を図るもの。  
取得相手方 ㈱長谷川ポンプ製作所  
取得金額 1028万5千円

○議員の派遣報告  
議員7名が山辺婚活サポート会の要請により意見交換に派遣された。

○議員の派遣  
議員の識見の拡大と議会の活性化と円滑運営を図るために、各種会議、研修会などに議員を派遣しようとするもの。

○意見書の提出  
「新型コロナウイルス禍による米の需給改善と米価下落の対策を求めることについて」を国会および関係大臣に提出。なお、県選出国會議員へも意見書の写しを送付する。

## 令和3年度 一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ7399万円を追加し、歳入歳出の総額55億1470万円に

### 主な補正内容

#### 新型コロナウイルス感染症対策として

- 本庁舎内に加湿空気清浄機購入 ..... 234万円の増
- 中支所の蛇口自動水栓、作谷沢支所のトイレ改修など ..... 160万円の増
- 山辺東部、山辺南部、山辺北部、大寺、相模、近江公民館トイレ改修など ..... 1091万円の増

#### 新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援策として

- ひとり親や所得の低い子育て世帯への特別給付金など ..... 1180万円の増

#### 新型コロナウイルスワクチン接種事業として

- 報酬、職員手当等、医師謝金、コールセンター業務委託料など ..... 5564万円の増
- 山辺温泉保養センター指定管理支援事業 ..... 350万円の増
- 旧作谷沢小中学校に係る警備委託料など ..... 102万円の増



中学生による花いっぱい運動

## 請願

請願名	「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人数学級」の実現を求めることについて		
請願者	少人数学級をすすめる山形県民の会 世話人代表 高木 紘一 伊沢 良治 佐藤 匡子		
趣旨	※前回号(No.112)をご覧ください		
紹介議員	峯田 博 竹俣 朋	結 果	継続審査後 不採択

請願名	新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求めることについて		
請願者	山形地方農民連 会長 吉田 吉弘		
趣旨	新型コロナ禍で米の需要が激減し流通在庫が過大になり、今年産米の米価が生産原価を割り込む暴落が危惧されています。かつて経験したことがないコロナ禍で、農業者の経営と地域経済を守るため従来の枠組みにとらわれない対策を求めます。		
紹介議員	峯田 博	結 果	採択

# ワクチン接種に向けた強化支援

## 臨時会のあらまし

第2回臨時会が4月19日に開催されました。  
令和2年度一般会計補正予算第9号・第10号についての専決処分と、町税条例の一部改正する条例の制定についての専決処分と、令和2年度国民健康保険特別会計補正予算第5号についての専決処分、国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、町繊維産業歴史資料館の指定管理者の指定について、町長より説明がありました。その他、令和3年度一般会計補正予算第1号などの全8議案を全会一致で可決しました。

## 条例改正

- 町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
- 令和3年度税制改正関連
- 個人住民税均等割の非課税限度額における国外居住親族の取扱いの見直し。
- 近年のデジタル化による、税務手続きおよび用件の緩和。
- 軽自動車税における環境性能に応じた基準など見直し。
- 出資に関する業務に充てられる寄付金を寄付金控除から除外。
- 国民健康保険条例の一部改正
- 新型コロナウイルス感染症

## その他の案件

### 山辺町繊維産業歴史資料館の指定管理者の指定

田小路など周辺地域の共同活動、交流活動に資する自治公民館としての役割を担うものとして、田小路親睦会を指定管理者として指定する。  
指定期間令和3年5月1日より令和8年3月31日。

### 専決処分とは？

地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項を、特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理すること。

## 令和2年度一般会計補正予算 第9号・第10号

町道中作谷沢線の道路陥没に伴う復旧工事の財源補てんで、繰入額を増額する。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い増額。ふるさと応援基金の積み立て、新型コロナウイルスワクチン接種に伴い増額。

第9号	1億172万5千円増
第10号	1億489万4千円増
総額	78億8613万2千円

## 令和2年度国民健康保険 特別会計補正予算第5号

社会保障、税番号システム整備費、マイナンバーカードを保険証として、利用可能とするオンライン資格確認費用など歳入の組み替えを行った。

## 令和3年度一般会計補正予算 第1号

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として1億1063万円を追加し総額54億4071万円

## 報告 第1号

令和2年度繰越明許費繰越計算書について  
新型コロナウイルスワクチン接種事業。道路・橋梁の維持管理事業など8件を繰越明許とする。

## 一般質問

# 町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

町ホームページ  
山辺町議会内で  
議会中継を  
発信中!!



※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

### 定例会のお知らせ

次回の定例会は9月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)

6月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

神保 稔	地域愛着	郷土の偉人 遠山椿吉博士の顕彰事業の推進を
遠藤真由美	災害対応	災害時における乳幼児への配慮とペット対応は
安達 春彦	内部統制	ミス防止と事後対策に向けた「内部統制」への考えは
武田啓一郎	社会教育	ポストコロナの町社会教育は
峯田 博	感染予防 DXの影響	①新型コロナ感染防止のさらなる強化は ②デジタル化改革関連法が成立し、具体化されることで町民への影響は
鍋倉 竹志	果樹被害	果樹凍霜被害について町の対応は
竹俣 朋	学校教育	誰ひとり取り残されることのない教育を

### 地域愛着

#### 郷土の偉人 遠山椿吉博士の顕彰事業の推進を



神保 稔 (町長) 博士の功績、業績を周知し、東京顕微鏡院との交流事業を継続していく

〔一財〕東京顕微鏡院※と町内小中学生との交流事業の成果と今後の計画は。

〔質問〕 博士の胸像の設置や顕彰会の設立は。

〔答弁〕 行政が主導して取り組むべきものではなく、住民活動の中から博士の偉業を顕彰していく盛り上がりがない。今後は遠山椿吉博士の業績を広く町内外に発信できるように有識者や関係機関と連携しながら事業に取り組みたい。

※明治24年、遠山椿吉博士が前身である東京顕微鏡検査所を創立。食品と環境の安全性に関する検査や公益活動などを行う団体。

〔質問〕 「夏休み子ども研究体験セミナー」に平成25年度から博士の出身校である山辺小学校より毎年4名が参加し、東京都中央区の児童たちと一緒に実験や積極的な交流を行うなど学ぶ楽しさにつながる事業となっている。今後は、新型コロナ禍を見据え対応していく。

〔質問〕 町の誇れる遠山椿吉、安達峰一郎、日下部四郎太の3博士の肖像画を庁舎や公共施設に掲示し、さらに周知する考えは。

〔質問〕 博士の関連する研究機関の一部を町内に誘致できないか。

〔答弁〕 検討していく。ふるさと資料館では、町にゆかりのある3博士の企画展や常設展で業績を紹介してきたが、さらに各分野での周知を図っていく。

〔質問〕 首都直下型地震などの想定した場合の安全な所への移設の安全な所への移設の



「夏休み子ども研究体験セミナー」で実験に取り組む子どもたち(令和元年度)

### 災害時における乳幼児への

### 配慮とペット対応は



遠藤真由美

(町長) 避難所の状況や災害の程度により柔軟に対応していく

**質問** 避難所に「授乳室」などの設置はあるか。

**答弁** 町では昨年度、感染症対策用として簡易テント108張りを購入。7か所の指定避難所に配備し、体調の悪くなった方や授乳室などのスペースとして活用を検討している。

**質問** 最近備蓄する自治体が増えている液体ミルクや使い捨て哺乳瓶を備蓄する考えは。

**答弁** 町では県との共同により、「山形県ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業」に取り組んでおり、4月から液体ミルクや使い捨て哺乳瓶などを

含む「赤ちゃん専用の防災ギフトセット」を贈っている。

備蓄用液体ミルクの賞味期限は、紙パックが6カ月、缶が14カ月となっており、備蓄方法などに課題があるため「災害時応援協定」の活用も含め検討する。

**質問** 賞味期限の近い物は、町の3カ月健診ブックスタート事業で活用するなど、ローリングストックで有効活用してはどうか。

**答弁** 賞味期限の近い粉ミルクなどは町の幼稚園などに提供している。同様の対応ができるか、まずは保存方法などの課題から検討する。

**質問** 東日本大震災の検証から、国は2013年、災害時にペットと同行避難することを原則とし、受け入れが可能となる避難所の整備を自治体に求めるガイドラインを策定したが、町の対応は。

**答弁** 日頃からペット避難についてはしつけやペット用避難用品の確保も含め、事前に友人宅や車中避難などの対策を検討してもらいながら、避難情報発令の際には速やかに同行避難をお願いしたい。町避難所の屋外、屋根のある場所が適しているが、避難所の状況や災害の程度により柔軟に対応していく。



非常食を作る際、水の代わりに液体ミルク

### ミス防止と事後対策に向けた「内部統制」への考えは



安達 春彦

(町長) 制度整備および運用の実現可能性を検証し、制度導入について検討していく

**質問** 内部統制について、町長をトップとする「内部統制に関する推進本部会議」の立ち上げに対する考えは。

**答弁** 内部統制は、コストと便益を踏まえた上で、リスクの大きな事務に対して優先的に内部統制体制を整備および運用することが求められている。また、「第4次山辺町行政改革前期アクションプラン」において、リスク管理の推進の取り組み内容、成果目標および取組計画などを具体的に設定しており、情報収集を行なっていく。

**質問** 今年発生した不正事案に対して原因究明を行い、繰り返し強い決意と役場の全員が当事者意識を持つリスク管理が必要ではないか。

**答弁** 再発防止等検討委員会を組織し検討している段階。法令遵守を徹底していきたい。

**質問** 今年発生した不正事案に対して原因究明を行い、繰り返し強い決意と役場の全員が当事者意識を持つリスク管理が必要ではないか。

**答弁** 再発防止等検討委員会を組織し検討している段階。法令遵守を徹底していきたい。

**質問** アクションプランとして「当面的問題は情報収集を図る」とのことであるが、成果目標としていつまでに情報収集を終える目標なのか。

**答弁** 期日については現在定まっていない。

**質問** 将来的な法定義務化を視野に動くというのは積極性に欠けるのでは。

**答弁** 公金等検討委員会で検討している。その検討結果については8月中に出したい。

**質問** 契約にかかるマニユアルを内部統制対応のものに変更した効果は。

**答弁** 紙からデータベースに変更。チェックリストの作成を義務化。係長などが検証しチェック体制が整うようにしている。



リスクマネジメントを徹底した内部統制の体制へ

### ポストコロナの町社会教育は



武田啓一郎

(町長) 学びの成果を地域活動に生かしていく

**質問** お互い助け合い励ましあって社会を生きていくことの大切さを、改めてポストコロナの新生活様式の実践の原点に置き、町が目指している協働の町づくりと地域コミュニティにおける社会教育活動との連携一体性についての、町の考えは。

**答弁** 年講座や成人講座、家庭教育講座など55講座、地域の交流や文化祭など27事業を実施。成人講座は趣味や個人の嗜好、青少年は環境や社会性、高齢者は防災などの学習活動。

**質問** 新たな現代的・社会的課題や地域におけるさまざまな課題に対応するため、社会教育が果たす役割はますます重要になっていく。昨年度はコロナ禍でほとんど講座の開設ができなかった。令和元年度は、各公民館事業として、青少年

社会教育の役割は、究極的には地域づくり。町民の心と思いやりを醸し出すことにつながる地域づくりとどのような場面で取り組んでいるのか。

町民憲章こそが、町社会教育活動のベースとして関わりがあるのではないのか。



社会性を身に付けることも大切・大寺みどりの会の親子防災学習

町民がお互いに感謝し安堵しあえる幸せを、社会教育活動のストーリー、シナリオとして描いて進めてほしい。

**答弁** 町民憲章との関わりを、確認したい。協働の町づくり、防災活動とも、地域課題の解決のためのアプローチや地域の実情や特色などの情報を共有しながら、連携を図ってきたい。学びの成果を、地域活動に生かしていく。

### ①新型コロナウイルス感染防止のさらなる強化は②デジタル化改革関連法が成立し、具体化されることで町民への影響は



峯田 博

(町長) ワクチンの接種は順調に進捗 これまでの方針を維持。デジタル関連法成立、国・県の通知や動きを注視する

**質問** 感染力の強い変異株が出現し抑止には医療や介護従事者への定期検査や、密になる保育園や小中学校の先生へのワクチン優先接種、PCR検査を希望する方へ補助制度の新設は。

**答弁** 5月よりワクチンを接種し、医療従事者は2回目も終了。定期的な検査の報告はない。

**質問** 先生方は国の優先接種の対象ではなく、国の指針で接種を進める。検査への補助は前回同様、現時点では考えていない。

**質問** 変異株が現れ、学校の感染防止の強化は。

**答弁** 全国的な理由としてカードを何に使うのか分からない、個人情報管理への心理的不安の2つがあるのでは。情報保護は国が共通の法

**質問** スパコン「富岳」の試算を参考に、十分な身体的距離をとる、換気・マスク着用を合わせて行う。運動部は各種競技の指針に基づき、感染防止対策を行う。

**質問** マイナンバーカードの普及低迷の要因と町の個人情報保護条例に反する恐れは。

**答弁** 全国的な理由としてカードを何に使うのか分からない、個人情報管理への心理的不安の2つがあるのでは。情報保護は国が共通の法



個人情報保護の徹底

**質問** 全国統一の基準での運用で町の個性が失われることは。

**答弁** 標準化対象となる17業務は創意工夫の余地が比較的小さいため、町の個性が失われることはない。

### 果樹被害

#### 果樹凍霜被害について

#### 町の対応は



竹志(町長) 当町の高品質で優良なさくらんぼ産地の継続に向け、関係機関と連携しながら、支援など検討していく

**質問** 降霜被害状況を町は、どのように把握しているか。

**答弁** J Aなどの関係機関や農家の方々に状況をお聞きし、町内のさくらんぼ園地については、現地確認を行った。

**質問** このような未曾有の被害に対して、町としての救済措置は考えているか。

**答弁** 現在のところ、町単独での凍霜害の被害に対する支援をどのような形で行うかの内容を検討するまでには至っていない。今後、収穫の状況などを確認しながら、検討していく。

**質問** 国、県と連携して、この被害に対する救済策が現時点であるのか。

**答弁** すでに県から発表されているが、被災農業者の減収、営農意欲の低下、農業生産の減退が懸念されることから、県・市町村・JAグループが連携・協調して「凍霜害・ひょう害緊急対策パッケージ」

「ジにかかる事業」を実施する予定。

**質問** ふるさと納税の返礼品としての果樹は確保できるのか。

**答弁** このたびの凍霜害で10事業者のうち3事業者については、一部の返礼品において申し込みの数量確保が難しい状況。事業者の連携や凍霜害を受けた事業者の考えや方針を考慮し、そして寄附者の思いを一番に大切にしたいうえで、総合的に調整して万全の体制のもと対応している。



凍霜被害にあったサクランボ

### 学校教育

#### 誰ひとり取り残されることのない教育を



朋(町長) G I G Aスクール構想を通じて効果的な学習を検討し、児童生徒の健全な成長に努めていく

**質問** G I G Aスクールの構想実現に向けて、ハード・ソフト両面での環境整備は。

**答弁** 山辺小、相模小、山辺中の町内3校にWi-Fiルータを必要台数設置し、ネットワークを整備。タブレットは5月末に児童生徒用1133台、教師用50台納入完了。タブレットを充電保管するキャビネットも各教室に配備。緊急貸出用のモバイルルータ、遠隔授業対応のマイクも必要台数整備している。指導教材について各学校から希望があった教材を整備している。今年度は、山辺中で一部の教科でデジタル教科書を取り入れ、その活用を予定。個人ごと

のデジタル教科書は、国の指針に基づき整備を検討していく。導入するクラウドサービスは、アプリを活用し協働学習や校務の効率化を図ることができ。万全なセキュリティも施している。

**質問** 端末による学習も、五感による学習も大切だが。

**答弁** 五感での体験はオンラインでは得られない。生の体験で育まれる、友情や思いやりの心は、子どもたちの健全な成長には必要不可欠だ。G I G Aスクール構想での環境はあくまでツールであることを学校と共有し、児童生徒の教育に努めていく。



タブレットで学習する子どもたち

### 厚生産業常任委員会

#### 凍霜害による果樹被害状況と町道認定箇所の視察

担当課長から説明を受けながら、厚生産業常任委員会の現地視察を6月15日に行いました。

今春は開花直前の大切な時期に最低気温が氷点下4度を下回る長時間の低温と降霜に見舞われたこと、さらに4月下旬の低温降霜が追い打ちをかけ、さくらんぼは致命的な被害を受けました。そこで現地に足を運び、実態把握を行いました。

この時期、真っ赤なルビーのような果実がたわわに実り、一般の町民の方の目を惹かせるさくらんぼですが、今年は葉の陰にチラホラ見え隠れする程度です。一粒の果実もなっていない樹木もたくさんあり、雨よけテントをかけることを諦めた園地もありました。未曾有の被害による救済策・支援策など検討を進めなければならないと感じております。また、大門地区の住宅地開発に係る町道認定について、現地確認を行いました。これまでの境ノ目川添いの道路はポールやフェンスを設置して、歩行者、自転車専用とし、南側に幅員6メートルの道路を設け自動車が行き来できる町道とするものです。整備も行き届いており、快適な住空間となることを確認してまいりました。



凍霜害を受けた樹園地を視察

### 総務文教常任委員会

#### 空き家対策はさらなる官民連携で

町内における空き家の現状と、空き家バンク制度について、7月6日に委員会を開催し、防災対策課と政策推進課より説明を受けました。

町内の空き家は平成28年度調査時の279棟から275棟と減っており、今後継続調査。空き家バンクによる成約はこれまで9件。山辺町を希望する登録者は5件で、平成29年度からは専門的な団体と官民連携による協力体制を取っているなどの話を受けて、各委員より質問、要望などが出されました。

所有者の意向により難しい事業ではあります。今後、子育て世代への対策として空き家を活用するなど、町の魅力や利便性を活かして、希望者とのマッチングが進めばと思います。



空き家バンクの利用で人口増を

### 広報常任委員会

#### 戦国期の遺構「畑谷城趾」を視察

町指定文化財の「畑谷城趾」を6月25日、視察しました。

ガイドの会、鈴木会長さんから「畑谷城趾を守るため、会の有志で城郭の保護・草刈りなどの環境整備を行っています。町指定の文化財としてさらなる向上を願っています」とご挨拶をいただき、その後ガイドの村山さんから詳細に説明していただきながら畑谷城趾を歩きました。

全国的には「戦国期の堅城30選」に、さらに山形県の城ベスト10の第2位に選ばれたことでもあります。愛好家の方々には有名で、東京や京都、遠くは広島からも来訪者がいますが、町内の来訪者は少ないということです。

畑谷城は戦国時代、上杉軍から最上領を守る最前線の山城でした。大空堀、横の移動を防ぐ堅堀、二重堀、三重堀、切岸など最上軍の最高の築城技術を駆使して堅固に築城されています。人力で造りあげ、それが400年以上経た今でも保存状態が良く残っています。建築物はありませんが往時の姿をリアルに想像することができます。

畑谷城趾は貴重な歴史的な文化財であり、部分的にも復元することで観光資源としての価値が大きくなりそうなことを実感しました。



堀についての詳細な説明を受ける

※ICT…通信技術を使って人と人がつながる技術  
※OJT…実務を経験しながら知識・技術を習得させる教育手法